

／ 議会に届けます、子育て世代の声 ／



青山 まさと

あ お

や ま

36歳

子どもたちに胸を張れる市政を！ Vol.2

政党・支持母体の影響がない普通の子育て世代
だからこそその目線で政治を伝えられます。

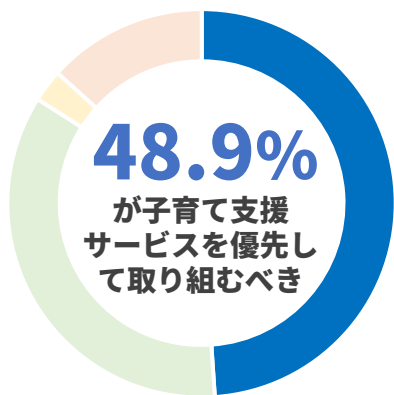
子育て支援
特集

調布市民の意識調査

この現状があります。だからこそ、

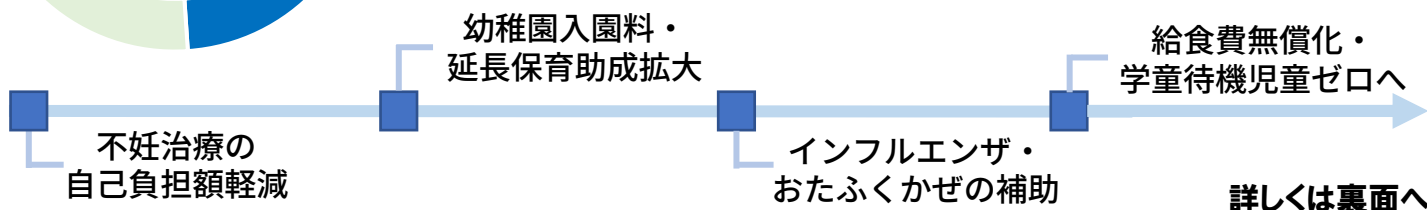
このまちで「よかった」

と思える子育て支援を行う



- 優先して取り組むべき
- 現状維持
- 他の取り組みを優先
- 無回答

出典：調布市民意識調査報告書
令和3年度版



ご挨拶



私は緑豊かでコンパクトに必要なものがそろう点に惹かれ、調布市に越してきました。これからも長く住もうと考えていたところ、調布市の将来計画に関わるタウンミーティング等に参加する機会をもち、調布市の未来に関わりたいという気持ちが強くなる中で政治を志しました。今回、後援会ニュースVol.2として子育て政策を中心にご説明したく本資料を配布しております。突然の送付にて恐縮ですが、お読み頂ければ幸いです。

／ 応援します！ ／

元国立天文台長 林 正彦

青山さんは、実務調整能力に優れ、私の右腕として慣れない海外で人事労務から財務会計、広報やイベント運営に至るまで様々な仕事を高いレベルで行ってくれました。政治の世界においてもその能力が発揮されることは間違いなく、自信をもって応援いたします。

プロフィール



1986年7月10日
東京都杉並区生まれ

2011年東京大学文学部
(社会心理学)を卒業

主に日本最大の研究者
向け補助金の運営と
制度設計に取り組む

中小企業診断士登録

ドイツ駐在
副センター長として
事務統括を行う

好きなスポーツは
バスケットボール
と野球

現在は調布市在住
家族は妻・子ども一人

青山まことの政策：子育て支援特集

■このまちで「よかった」と思える子育て支援を行う

不妊治療の自己負担軽減



現状

不妊治療を行ったことのある夫婦約5.5組に1人



体外受精にかかる費用一回当たり約50万円



出典：厚生労働省 不妊治療と仕事との両立サポートハンドブック
野村総合研究所 不妊治療の実態に関する調査研究

2022年

不妊治療の保険適用が決定。

それでも負担は大きい。

早急に

不妊治療の自己負担軽減を推進



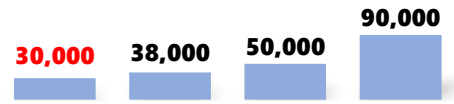
そして安心してライフプランを築ける社会を実現する。

幼稚園の助成拡大・学童保育定員増



現状

幼稚園入園料補助（円）



調布市 三鷹市 武蔵野市 世田谷区

出典：各自治体HP

■学童保育の待機児童数188名
東京の市町村部でワースト2位

出典：東京都HP

早急に

■幼稚園入園料・延長保育助成拡大
■学童保育の待機児童ゼロへ



そして小学校までの切れ目のない支援をつなぐ。

インフルエンザ・おたふくかぜの補助



インフルエンザワクチン

現状

13歳未満
接種回数：2回
補助なし
2回で6,000-10,000円程度

出典：厚生労働省
インフルエンザQ&A

早急に

13歳未満の
インフルエンザ
ワクチン接種
無償化を推進



おたふくかぜワクチン

現状

1回目：1歳
補助あり
自己負担3,000円
2回目：小学校入学前
補助なし
自己負担6,600円

出典：日本小児科学会HP、調布市HP

早急に

おたふくかぜ
ワクチン接種
無償化を推進



小中学校の給食費無償化



現状

給食費

月額	H30年	H28年
小学校	4,343円	4,323円
中学校	4,941円	4,929円

出典：文部科学省
学校給食実施状況等調査

最近の物価上昇で給食費もさらに値上げせざるを得ないという報道も。

2020年

大阪市で小中学校の給食費無償化

2023年

葛飾区で小中学校の給食費無償化

早急に

調布市でも小中学校の給食費無償化を推進



そして給食費未納で肩身を狭くする子供を無くす。

